

三重中学校は、平成29年度から「中学校学力向上対策3つの提言」推進重点校に指定され研究を進めてきました。「生徒指導の3機能」を生かした「新大分スタンダード」による授業改善はもとより、「学びに向かう集団づくり」をめざして生徒会と連携した取組にも力を入れています。公開研究発表会の様子と併せ、研究内容について紹介します。

研究内容の概要

研究主題 「学びに向かう力」と思考力・判断力・表現力の育成

学び

「深い学び」をめざした授業の創造

- ・知識、理解を関連付けて理解を深める探究活動
- ・多様な考えを理解し、考えを形成する
- ・思いや考えをもとに創造し、意味や価値を創造する

- ・「深い学び」をうむ単元計画
- ・学びを深められる「課題」
- ・深い学びにつながるペア、グループ活動

自立

社会的自立をめざした「学びに向かう集団づくり」

- ・キャリア教育の視点からの諸行事の充実
- ・学校生活の向上 ・共に学び合う集団 ・協働

- ・学級目標を具現化する学習目標、生活目標
- ・生徒会活動の「見えるか」「ひと工夫」
- ・学年生徒会の活性化

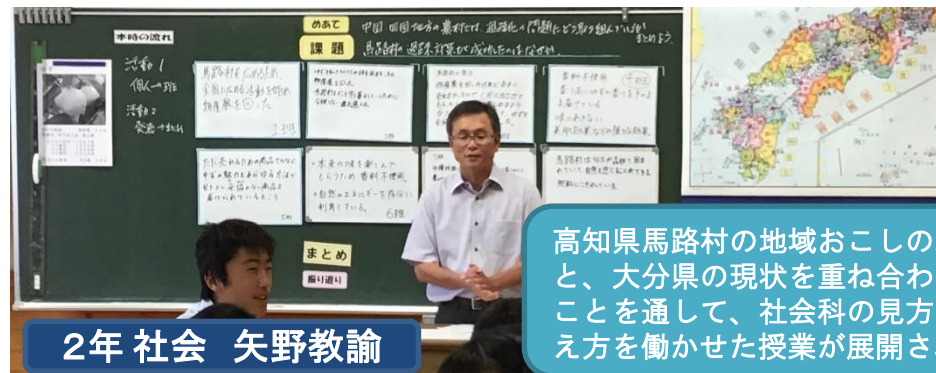
研究組織 : sプロジェクト(教科部会) Lプロジェクト(生徒会専門部担当教員部会)

公開発表会の様子



「振り返り」の場面で、友だちの考える「詩の魅力」について、理由を添えながら、ペアで考えを交流する生徒の姿が見られた。

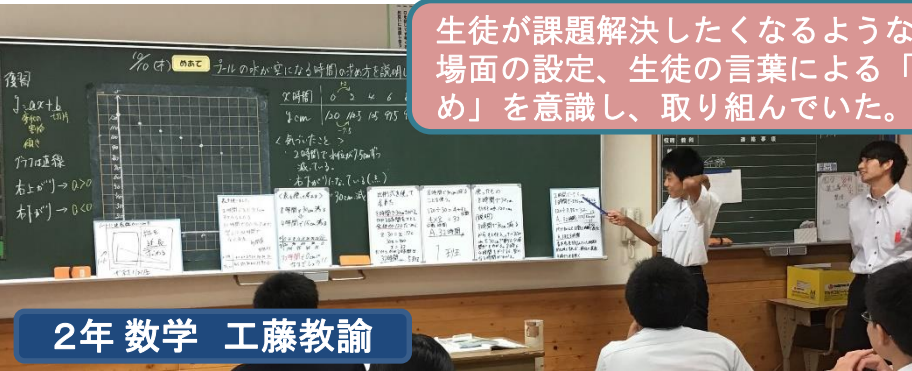
1年国語 三宅教諭



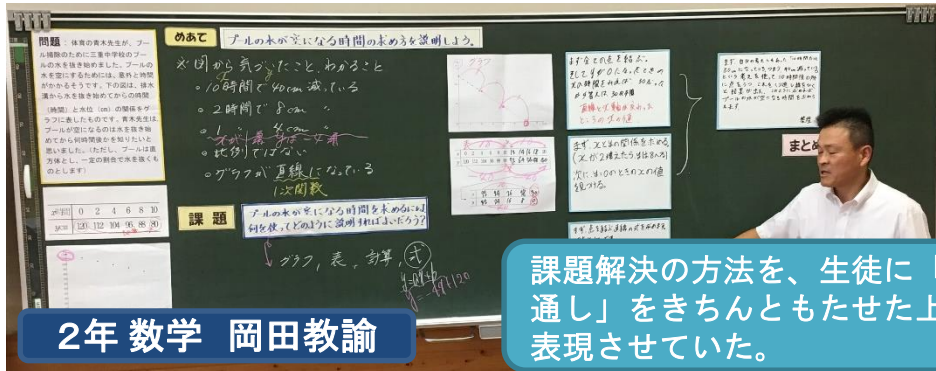
高知県馬路村の地域おこしの取組と、大分県の現状を重ね合わせることを通して、社会科の見方・考え方を働かせた授業が展開された。

2年社会 矢野教諭

生徒が課題解決したくなるような問題場面の設定、生徒の言葉による「まとめ」を意識し、取り組んでいた。

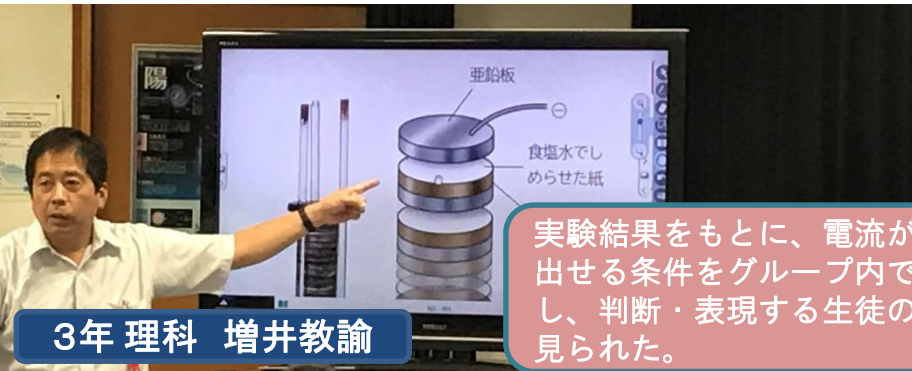


2年 数学 工藤教諭



2年 数学 岡田教諭

課題解決の方法を、生徒に「見通し」をきちんともたせた上で表現させていた。



3年 理科 増井教諭

実験結果をもとに、電流が取り出せる条件をグループ内で対話し、判断・表現する生徒の姿が見られた。



3年 英語 安藤教諭

クイズを出し合う形で、関係代名詞を自然に使いながら、意欲的に質問したり、答えたりする姿が見られた。

講演 国立大学法人 岐阜大学 教育学研究科 特任教授 原尚氏



「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくり
「アクティブ・ラーニングからの脱却」
国立大学法人 岐阜大学 教育学研究科 特任教授 原尚氏

公開発表会には、豊後大野市外からも多くの先生方が来校され、58名の参加者がありました。

以下、3年間の研究の成果と課題として（研究紀要より抜粋）

【成果】

- SプロとLプロによる組織的な研究の推進
- ベテラン教員の経験からのアドバイスと若手教員の新鮮な発想の融合
- ペア・グループ活動による考えや意見を言いやすい雰囲気
- 生徒によるPDCAサイクルの取組による、専門部活動の活性化

【課題】

- 「深い学び」をめざした「課題」の設定、ペア・グループ活動の工夫
- 教科横断的な取組
- さらなる特別活動の充実